

## 授業改善書

科目名	企業情報論(IR)
担当者	米山徹幸

### 授業の概要

- ① 商品・サービスはもちろん、工場の進出や人事など企業の発信する情報は私たちの身の回りにあふれている。その中で、本講義は、企業の対外向け情報発信、とりわけ株主・投資家向けの情報発信活動(IR)を取り上げる。
- ② 金融商品取引法や取引所規則などの法的・自主的な情報開示を具体的に追って、企業情報が拡散していく過程や経路を把握し、これを利用する市場や投資家の対応について学ぶ。
- ③ 授業は、各回とも講義向けに関連の資料やPP資料を配布し、その都度、参照する文献も適宜、指示するやり方であった。
- ④ さらに、市場を駆ける企業情報について考察を深めるために、日米の株式指数(日経ダウ、米ダウ工業30種指数)やトップ企業(トヨタ自動車、アップル)の株価、10年債の利回り、円ドル為替の推移をそれぞれ、自筆で書き込むレポートを計2回提出。

### 授業の問題点

- ① アンケートをみると、「テキストなどの資料は適切でしたか」に4.40とあり、「板書や映像資料は見やすく、ノートしやすかったですか」も4.40と、関連資料やPP教材の効用を確認できる。そして「授業内容に興味や関心を持ちましたか」に4.40とあり、授業の成果も確認できよう。
- ② 他方、「ノートを取りましたか」は3.80とあった。配布したPPを追って、学生各自のノート替わりとなったためと思われる。PPをサブノートのようなスタイルに工夫したい。
- ③ レポートの作成で、初歩的な勘違い(転記ミス、単位間違いなど)が目立った。

### 授業改善の課題・方策

- ① 講義を通じて、繰り返し、レポートの書き方、とくに数字や単位の使い方に関連して、今年度以上に配慮したい。
- ② 為替や株価、債券金利などの数字を自分のレポートに転記し、その意味をその理解度が分かること。情報のストーリー性を持つメッセージ性について、さらに重点を置いた展開とし、これにより、もっと授業の流れ全体の進捗がわかりやすくする方向で対応したい。

### その他